

平成19年度予算の新規・拡充・縮小廃止事業に関する調べ

部局名		産業建設部		
事業項目	事業の内容	新規・拡充・廃止等の別	ヒアリングの内容	主管課名
1 「農地・水・環境保全向上対策」の支援	資源保全活動と環境こだわり農業を集落ぐるみの協働活動によって農業・農村の多面機能の発揮を図るための支援。 負担割合 国2:県1:市1	新規	・県の補助事業施策として「環境こだわり米」を三雲、下田、石部地先等で個人の施策として実施してきたが、県の補助が廃止となる。 ・これに対して、従来の個別施策から国の施策(集落ぐるみの協業活動)に切り替えることで新たな補助事業対象となり、市の負担も含めた支援が確保されることとなる。	農林課
2 経営体育成基整備事業(岩根地区)	団体営ほ場整備事業が完了して以来30年余り経過しており、施設の老朽化、破損等が激しくなってきた、改良、改修、補修等を行うことにより農業の安定を図る。	新規	・全体事業費としては概ね5億円程度が必要。 ・朝国から菩提寺にかけてが対象範囲。対象農業者数はおよそ1000件くらい。 ・平成19年度に調査に入り、20年度から工事着工を図りたい。 ・掛かる経費や事業の規模など十分な調査、検討を図るとともに、事業負担のかかる対象農業者の方や地元との協議を充分に行うこと。	農林課
3 地積調査業務(石部地区)	旧石部地区の地積を更正するにあたり、平成16年度より丸山地域に着手し、3ヵ年で一地区を整備し面積、公図、境界等の確定を図る	廃止	・平成20年度から、住居表示を拡大するため地積調査は休止する。	都市計画課
4 市道の歩道、歩道橋新設整備事業	通学児童、生徒の安全を図るために、歩道及び歩道橋を新設整備する。 市道夏見岩根線(甲西中央橋の歩道橋含む) 市道広野八重谷線 市道田代ヶ池1号線 市道宮ヶ谷線	新規	・危険性・必要性の高いところから計画的な整備を図ること。 ・例えば歩道橋などの場合、早急に整備を行うためにも橋脚から施工する工法だけでなく、張り出し(アーム)式の工法を採用するなどの工事期間の短縮や経費の縮減など効率的な計画に基づくものであること。	建設課